

「あいりん地域のまちづくり検討会議」

傍聴者によるワークショップ（ルールある井戸端会議）の進め方について

★はじめに

傍聴者のみなさんも、いろいろなご関^{かん}心、期^き待、要^{よう}望、疑^ぎ問、懸^{けん}念があつて今回の会^{かい}議に参^{さん}加されてい^いると思^{おも}います。傍^{ぼう}聴^{ちやう}者^{しや}のみなさんのいろい^ろろな思^{おも}いや考^{かん}えを紙^{かみ}に書^かいて表^{ひょう}現^{げん}していただき、一^{いち}覧^{らん}表^{ひやう}を作^{つく}り、み^みなで眺^{なが}められるようにして、検^{けん}討^{とう}委^い員^{いん}や有^{ゆう}識^し者^{しや}、そ^そして大^お阪^お市^し区^く行^{こう}政^{せい}に伝^{つた}え、一^{いっ}緒^{しょ}に議^ぎ論^{ろん}を進^{すす}め、こ^この地^ち域^{いき}の将^{しょう}来^{らい}を模^も索^{さく}していき^いきたいと思^{おも}います。

★作業の手順

- (1) 傍^{ぼう}聴^{ちやう}者^{しや}の皆^{みな}さんには筆^{ひつ}記^き用^{よう}具^ぐ、横^{よこ}長^{なが}付^ふ箋^{せん}紙^し3枚^{まい}をお渡^{わた}しします。
 - (2) 1枚^{まい}の横^{よこ}長^{なが}付^ふ箋^{せん}紙^しには、必^{かな}ず1つ^{いけん}の意^き見^{けん}を記^き入^{にゅう}して下^{くだ}さい(2つ^{いけん}意^い見^{けん}がある人^{ひと}は、別^{べつ}々^{べつ}の付^ふ箋^{せん}紙^しに1つ^かずつ書^くいて下^{くだ}さい)。
 - (3) 壁^{かべ}に大^{おお}きな模^も造^{ぞう}紙^しが3セ^もツ^{ぞう}貼^しつてあ^はります。自^じ分^{ぶん}の書^かいた意^い見^{けん}が「検^{けん}討^{とう}会^{かい}議^ぎに對^{たい}する期^き待^{たい}や要^{よう}望^{ぼう}」であ^らば、そ^そのタ^たイ^いトル^{トル}が書^かかれてあ^ある模^も造^{ぞう}紙^しに、自^じ分^{ぶん}の書^かいた意^い見^{けん}が「検^{けん}討^{とう}会^{かい}議^ぎに對^{たい}する疑^ぎ問^{もん}や懸^{けん}念^{ねん}」であ^らば、そ^そのタ^たイ^いトル^{トル}が書^かかれてあ^ある模^も造^{ぞう}紙^しに貼^はつて下^{くだ}さい。そ^そのど^どち^ちら^らにも當^あては^はま^まら^らない意^い見^{けん}は「そ^その^た他^か」と書^かかれてあ^ある模^も造^{ぞう}紙^しに貼^はつて下^{くだ}さい。
 - (4) 進^{しん}行^{こう}役^{やく}(フ^ふァ^あシ^しリ^りテ^てー^たー)が、各^{かく}模^も造^{ぞう}紙^しに貼^はら^られた意^い見^{けん}の付^ふ箋^{せん}紙^しを、内^{ない}容^{よう}毎^{まい}に整^{せい}理^りして並^{なら}び替^かえ^かえ^かます(出^でさ^された意^い見^{けん}は、す^すべ^べて記^き録^{ろく}と^として残^{のこ}します!)
 - (5) 整^{せい}理^りが^ができ^きたら、傍^{ぼう}聴^{ちやう}者^{しや}の皆^{みな}さん^{さん}と内^{ない}容^{よう}を^を検^{けん}討^{とう}、確^{かく}認^{にん}します。
 - (6) 検^{けん}討^{とう}会^{かい}議^ぎの各^{かく}班^{はん}から^らの報^{ほう}告^{こく}の前^{まえ}か後^{あと}に、全^{ぜん}体^{たい}に^に向^むか^かつて傍^{ぼう}聴^{ちやう}者^{しや}から^らの意^い見^{けん}を^を進^{しん}行^{こう}役^{やく}が^が発^{はつ}表^{ひょう}し、全^{ぜん}体^{たい}で^で共^き有^{ゆう}し^します(傍^{ぼう}聴^{ちやう}者^{しや}から^らの質^{しつ}問^{もん}や要^{よう}望^{ぼう}に^に對^{たい}して、そ^その場^ばで^で答^{こた}え^えら^られる^るもの^のは、鈴^{すず}木^き座^ざ長^{ちやう}から^ら答^{こた}えて^てい^いた^ただ^だき、そ^その場^ばでは^は回^{かい}答^たで^でき^きない^いもの^のは、後^{あと}日^{じつ}、艾^{えい}筆^{ひつ}で^での^の回^{かい}答^たに^にな^なります)。
- では、一^{ひと}人^{ひと}一^{ひと}人^{ひと}の意^い見^{けん}を^を尊^{そん}重^{じゆう}し、矢^や切^きに^にし^しあ^あい^いな^なが^がら^ら作^{さく}業^{ぎやう}を^を進^{すす}め^めて^てい^いき^きま^まし^しょう!